

米創庵 2022年3月
第27号
KOME'SOU ANN

さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる

目黒区健康福祉部長 竹内 聡子

フードコミュニティ目黒の皆様には、日頃より目黒区の障害福祉行政にご理解ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。また、感染防止対策を講じながら事業所を継続して障害者支援にご尽力いただいておりますこと、深く感謝しております。

コロナ禍も3年目となり、新たな変異株の出現で全国的に感染拡大が続いています。区内の障害者就労継続支援施設からは、自主生産品の販売機会や受注作業が減少しており、工賃や作業量の確保など利用者への影響があるという声も伺っております。苦しい時期ではありませんが、フードコミュニティ目黒では、毎週の目黒区役所でのお弁当販売に目黒区民センター1階の「おむすびカフェ米創庵」のおむすびが加わり、ランチを選ぶ楽しみがまた一つ増えました。

さて、区では、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先課題として、様々な取組をしております。新型コロナワクチンの追加接種につきましては、区民の皆様がいち早く接種できるよう、接種間隔を短縮して進めています。障害者施設の巡回接種も実施しており、2月19日に接種を終えたと伺っております。引き続き、区民の皆様が安全で安心な日常生活を送れるよう努めてまいります。

例年3月中旬には目黒川の桜も見ごろとなります。区が、おおよそ20年先に目指すまちの将来像は「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」です。春のやわらかな日差しを浴びた満開の桜の花のように、フードコミュニティ目黒の利用者、職員、関係者の皆様の明るい笑顔が溢れる毎日となりますよう祈念いたしております。

現況報告

フードコミュニティ目黒 理事長 渥美 昭美

令和3年に目黒区民センターにオープンしたB型分室「おむすびカフェ米創庵」も8か月が過ぎました。料理研究家の監修した料理や関係者の方々の宣伝によりお客様が予想以上に来て下さっています。目黒川の桜のつぼみも膨らみ春はもうそこ迄来ています。コロナ禍ですが桜の満開の時期にはお店も賑やかになるのかと思います。

FC目黒ハウス(グループホーム)は、通所施設から歩いて数分の所にあり、個室で食堂・リビング・各階に障害者対応のトイレと浴室が完備され、エレベータを有してバリアフリー住宅となっています。新築をして3年が経ち第三者評価も受けたところです。

フードコミュニティ目黒(障害者通所施設)の就労継続支援B型事業・就労移行支援事業(就労定着支援を含む)は三密の回避と換気に気を配り新しい生活様式を取り入れた感染リスクを軽減する運営をしています。今後とも「フードコミュニティ目黒」「FC目黒ハウス」「おむすびカフェ米創庵」にご指導、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

今年度を振り返って

フードコミュニティ目黒 施設長 吉塚 晋

皆様には、日頃よりフードコミュニティ目黒の運営にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

昨年度から新型コロナウイルス感染症が流行し、収束が見えないなか、まだまだ予断を許さない状況が続いています。その中で今年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日常に少しの明るい変化を感じました。施設内の行事としての「一泊研修」や館内まつりの「スマプラフェスタ・わっしょい&防災訓練」が中止となり、何名かの利用者が参加を楽しみにしていた目黒区主催の「目黒シティラン」はオンラインハーフマラソンのみの実施となりました。様々なイベントが実施困難の中、FC目黒ではコロナ感染者数が減少していた11月に2年ぶりに「休日サービス提供」をおこなうことができました。皆でからだを動かしたり、ゲームをしたり、昼食はカレーを作って美味しくいただきました。久しぶりの実施で参加者も多く皆さん楽しんでいました。

このコロナ禍の中、量は減っているものの途切れることなく地域の企業からの受注作業をいただいていることはありがたいことです。利用者は仕事を楽しみにしていて、納期に遅れることなく作業を継続することができています。自主製品のお弁当、お萩については感染予防の観点から利用者の区役所の配達販売などは、ひかえています。近隣のお宅や事務所への歩いての配達は何とかやっています。緊急事態宣言やまん延防止期間中は注文が減っていることもあり弁当製造数を少なくし、調整しながら販売をおこなっています。

目黒区民センターに7月にオープンした、「おむすびカフェ米創庵」は開店して8か月が過ぎました。このコロナ禍でも足を運んでいただいているお客様に感謝しております。季節ごとにより新しいメニューを考え、利用者も活躍できる米創庵らしいお店になるよう試行錯誤しながら進めています。2月からは火・木曜日に目黒区役所西口ロビーで米創庵の『おむすび弁当』の販売を始めました。ぜひご利用ください。

この一年、FC目黒は地域の方々や関係者に助けていただきながら、利用者、職員も自分たちができることを精一杯おこなってきたと感じています。

今後とも地域とともに歩むFC目黒をどうぞよろしくお願いたします。



配達の様子

令和4年度

賛助会員募集

★会費は、団体：年額 10,000円 個人：年額 3,000円
★ぜひ、ご協力のほどお願いたします。

* 振込先 * 郵便振替口座 00140-9-706649 特定非営利活動法人フードコミュニティ目黒

『FC目黒休日サービス提供』の紹介

以前から年8回程度行ってきた『FC目黒休日サービス提供』は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により1年半以上活動中止を余儀なくされてきました。昨年9月頃からの感染者数の激減により、11月23日に『FC目黒ハウス(グループホーム)祝日日中支援』との合同で開催しました。

利用者に希望を聞き、今回は『カレーライス作り』『グラウンドでの野外遊び(サッカー・ドッジボール・リレー・しっぽ取りゲーム)』『室内遊び(人間すごろく・トランプ・百人一首・かるた・ウノ)』を行いました。FC目黒の利用者だけでなく、久しぶりに会う定着支援利用者、グループホームの利用者も参加して、皆笑顔で目をキラキラ輝かせて多いに楽しみ、とても良い活動となりました。

施設外へ出かけての休日サービスはまだできませんが、色々な所に出かけ安心して皆で楽しめる時期が早く来て欲しいと願っています。

この日はとても天気が良く、「サッカー」は2チームにわかれ対抗戦を行い白熱した試合でした。「しっぽ取りゲーム」は普段は走らない方も元気に走っており、青空の下元気に体を動かしていました。



サッカー



リレー



しっぽ取りゲーム

昼食はみんな大好きなカレーライス。それぞれ役割分担をして、具材の皮むきや切り出しを行いました。皆で作ったカレーはとてもおいしかったです。



人間すごろく



かるた

食後は室内での活動。大きなサイコロを使っての人間すごろくが大人気。大盛り上がりでした。

お弁当販売を3か所で行っています

★目黒区役所

日頃よりFC目黒のお弁当をご愛顧下さいまして、誠にありがとうございます。
区役所西口1Fロビーでお弁当の販売を行っています。販売は11時45分から行っていますが30分程で50食のお弁当が売り切れるほど、区の職員の方や地域の方まで美味しく食べて頂いております。販売日は月曜日、火曜日、木曜日の3日間です。月曜日のみ「お萩」の販売も行っています。こちらも大好評です。2月からは「おむすびカフェ米創庵」で製造したおむすび弁当も販売しています。

お弁当はFC目黒の厨房で製造し主菜、副菜合わせて塩分3%以下にしています。販売を担当しているスタッフも自信をもって販売しています。



★SunMarche(さんまるしえ)

区内の障害福祉施設で製造された自主生産品を展示販売しているお店「さんまるしえ」にFC目黒のお弁当を毎日40個程度カウンターに置いてもらい販売しています。毎週、本町福祉工房の利用者さんがビラを配り宣伝して下さいています。



★COHANA(コハナ)

令和3年8月24日にめぐろ区民キャンパス内に、「COHANA(コハナ)」がオープンしました。こちらにもFC目黒のお弁当を20個程度置き販売しています。「さんまるしえ」同様、店内でも召し上がれます。どうぞお立ち寄り下さい。



* イベント・サークル・会議等のお集まりに、ご予算に応じてお作り致しますので、お気軽にご相談くださいませ。

■ご注文・お問い合わせ
電話03-5768-0707

(9:00~17:00/土日祝休み)

安心・安全の厳選素材が自慢です！



宮城県産の環境保全米(減農薬)「ひとめぼれ」100%を使用。主菜は、肉または魚をメインに和洋折衷バラエティ豊か。すべて手作りしております。

白米弁当 / 670円

赤飯弁当 & 山菜おこわ弁当 / 各770円

(宮城県産こがね餅米100%使用)



赤飯
グラムにより300~400円



山菜おこわ

450円



お萩(5個入り)

450円

※価格はすべて内税となっております。 ※4月から値上げを予定しています。